

北九州市民の会ニュース



平和ネット 19 日定例街宣行動 「ガザ攻撃をやめよ」

10 月 19 日 18 時から「平和をあきらめない北九州ネット」が、小倉駅で 19 日定例街宣行動に取り組みました。この日は、ビラもスタンディングもリレートークも「イスラエルはガザ攻撃をやめよ」のアピール一色でした。

「ハマスの軍事作戦は、国際人道法違反であり、到底容認できるものではありません。しかし、ガザ地区を完全封鎖した上に、ライフラインさえも断ち切り、そこに攻撃を加えるなど、イスラエルの報復攻撃の「残虐性」は、もはや常軌を逸したものと言わざるを得ません。これはもう「戦争犯罪」です。

イスラエルは、国際世論に従って、直ちにガザ侵攻を中止し、ガザ包囲を解除すべきです。」と訴えました。ビラを読んでもらった人、「ガザのために」とカンパをくれた通行人もいました。

大軍拡・大增税許すな！戦争させない！ 11.3 北九州集会

憲法で平和な社会を実現しようと活動する市民団体「平和をあきらめない北九州ネット」は 3 日、小倉北区米町公園で憲法集会を行い、約 150 人が参加しました。集会では大增税と大軍拡を許さず、戦争させない集会アピールを採択。「ガザ攻撃やめろ」のプラカードを一斉に掲げました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員（衆院九州・沖縄比例予定候補）、社民党の志岐玲子福岡県連合副代表が登壇し、あいさつしました。佐賀、大分両県からの参加者も報告。オスプレイ裁判支援市民の会の池崎基子さんは「日本のどこにもオスプレイはいら



憲法生かし大軍拡阻止 公布 77 年 国会前に 4000 人

日本国憲法が公布されて 77 年の 11 月 3 日、全国各地で憲法を生かした社会の実現を求める宣伝や講演会が行われました。

国会正門前では、総がかり行動実行委員会と 9 条改憲 NO！全国市民アクションが主催した憲法大行動が取り组まれ、強い日差しのもと市民と野党国会議員ら 4000 人（主催者発表）が、「戦争反対」「憲法生かして暮らしを守ろう」とコールしました。

上右写真「憲法守れ」と声を上げる人たち＝3日、国会正門前

戦争やめろ 憲法活かせ



ない」と裁判への支援を訴え、大分敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会の池田年宏さんはギターで歌を披露しながら「軍事要塞（ようさい）化される動きを止めたい」と連帯を呼びかけました。

集会後、小倉駅前でもリレートーク宣伝を行いました。



9条の会・北九州憲法ネット 第20回総会・記念講演 憲法破壊の政治ストップ!!

10月28日(土)、9条の会・北九州憲法ネットが、第20回総会と記念講演を開催しました。総会では、活動経過、活動方針、役員人事案、予算案が一括報告され、承認されました。

記念講演は、永山茂樹氏(東海大学法学部教授)「安保関連三文書と大軍拡の行きつく先はなにか」でした。永山教授は、岸田内閣が作成した安保関連三文書とそれを具体化するための大軍拡は、私たちの

生活を破壊し、「近隣諸国とミサイル戦争をする国」づくりを進めるものだと述べ、憲法9条の平和主義にもとづいて、憲法破壊の政治をぜったいに止めなければなりませんと熱弁されました。



辺野古土砂ストップ北九州 講演会 三上監督が「平和への思い、語る」

11月4日(土)14時から、ムーブ2Fホールで三上智恵監督の講演会が開かれました。主催は、辺野古土砂ストップ北九州。三上さんは、「伝えきれない沖縄 平和への思い」を熱く語り、来場の皆さんを魅了させました。

日中友好協会 福岡県連合会 定期大会 創立70周年に向けて団結

日本中国友好協会福岡県連合会の第62回定期大会が11月5日、福岡市のちどりビルで開催され、県下15支部から52人の役員、代議員が対面で開催しました。

開会宣言後、闘いの半ばで今年度亡くなられた方への黙祷を行い、新年度の議案などの提出、情勢報告、各支部からの活発な討論が行われ、会計、新役員を選出して5時間の会議を成功裏に終えることが出来ました。

稲村会長は「日本は今、アメリカの中国封じ込め政策に組み込まれるのか、そうではなく憲法9条を活かしていくのか、大きな岐路に立たされている。まさに日中友好協会の力が試されている」と当日のさまざまな議論の総括を行い、閉会挨拶で三輪俊和副会長は「今回の第62回県連大会は、私ども、成功裏におえることができたという風に思います。会場の雰囲気がいいですね。明るくてね、生き生きして、やっぱり仲間意識があります。3つに成功の中身をまとめますと、1つは、情勢分析



が非常にやっぱりしっかりして確信を持てる。2つ目は、その情勢分析に基づいて、しっかりとした活動提案が確認できたということ。そして、確信できる報告があって、私たちは共通した活動方針を採決できた。来年は福岡県連創立第70周年、お互いに頑張っていこうではありませんか」と締めくくりました。